

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

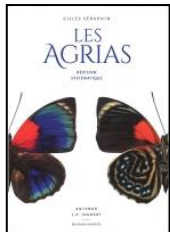
日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

2025年5月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

<新着図書>

Les Agrias アグリアス（ミイロタテハ）属のレヴィジョン



Antenor Review and J.-P. Joubert (co-edition), 2025.

298x210mm, 374pp.+123 カラープレート 価格：29,000 円（税込 31,900 円）

アグリアス（ミイロタテハ）属の決定版！7 新亜種記載を含む 550 タクサを扱い、そのほか分類学的変更も掲載あります。240 以上のホロタイプやレクトタイプ標本を図示し、見やすい大縮尺の分布図と巻末には圧巻の 123 プレートが入り合計 512 頁の大著になりました。

アジア産蝶類生活史図鑑 I+ II（未使用品）



著者の手元にあった未使用品について、この度格安で販売いただけることになりました。限定 3 セット。I 巻と II 巻の組み合わせでこの価格のものは、今後は無いと思います。

頒布価格：40,000 円（税込 44,000 円）

千葉秀幸博士のセセリチョウ関係著作別刷（1991～2016 年）



セセリチョウの研究で著名な千葉秀幸博士の別刷の頒布です。

1991 年より 2016 年までの論文となります。今回は部数の少ない別刷があるため、セット販売および単品での販売をいたします。

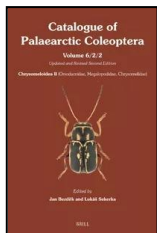
詳細はこちら

<http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/sub2008.html>

Catalogue of Palearctic Coleoptera

Vol. 6/2 Chrysomeloidea II (Orsodacnidae, Megalopodidae, Chrysomelidae) [2nd ed.]

旧北区産甲虫カタログ 第 6 巻(2) (第 2 版) 2 冊組



Bezdek, J. & Sekerka, L., 2024.

246x180mm, 1116pp.(6/2/1:750pp. + 6/2/2:366pp.) ハードカバー、テキスト：英語。

価格：70,182 円（税込 77,200 円）

ハムシ上科(Orsodacnidae, カタピロハムシ科, ハムシ科)を掲載。

Volume 6/2/1 と 6/2/2 の。2 冊組です。

日本産タマムシ大図鑑（月刊むし・昆虫大図鑑シリーズ）



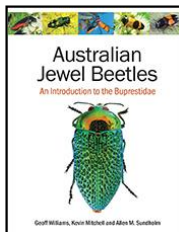
※2025 年再入荷

大桃定洋・福富宏和, 2013 (2025, 第二版) 標本協力：吉田和久

A4, 208pp (カラープレート 94 ページ), 箱入 価格：20,000 円（税込 22,000 円）（送料サービス）

現在までに知られる日本産タマムシ全種全亜種を図示した大図鑑。日本産タマムシの研究史概略、日本産種の高次分類体系と分類学上の問題点、日本産タマムシの多様性、日本産タマムシ科甲虫の解説、日本産種のシノニムリスト、引用文献など。生態写真 (37 プレート) 15 人の撮影者による 89 種（プラス 8 亜種）のタマムシ生態写真を、最新情報を含めた解説付きで掲載。生態写真が初めて公開される種が多数あり、微小な種を多く含む日本産タマムシの生態写真が一巻に掲載されるのは、今回が初めての試みです。標本写真 (56 プレート) 現在までに知られる日本産タマムシ全種の 219 種（プラス全亜種の 42 亜種）のすべての標本写真を、同定可能な大きく鮮明なカラー写真（微小種は深度合成写真でシャープに図示）で掲載。今回、初めてカラーで図示される種も多数あります。同定の難しいナガタマムシ類は、同定のポイントとなる頭部・胸部の側面写真を掲載。また、同じく同定の難しいチビタマムシ類は、同定のポイントとなる腹面の写真を掲載。図版に使用した標本のデータも完備。

Australian Jewel Beetles: An Introduction to the Buprestidae オーストラリアのタマムシ



Williams, G, Mitchell, K. & A.M. Sundholm, 2024.

276mm x 213mm, 215pp.(フルカラー), ハードカバー, テキスト：英語。価格：30,000 円（税込 33,000 円）

オーストラリアのタマムシ全種の分類学的、生態学的、生物地理学的情報と、世界のタマムシ科との関連を広く紹介しています。

この多様なタマムシにおける生息状況だけ

でなく、植物との関わり（受粉媒介者としての役割、植物への脅威と保全）について解説されています。標本画像、生態画像が各 250 点以上が掲載されていて、眺めているだけでもワクワクするような構成になっています。

Betta macrostoma & the largemouth fightingfishes : observations on a noteworthy group of fightingfishes

ベタ・マクロストマと近似種の生活史図鑑 注目すべきベタ類



についての観察

Horst Linke, 2024.

215x303mm, 208pp., ハードカバー, フルカラー (写真), テキスト：英語

価格：8800 円（税込 9,680 円）

東南アジアを原産とする Betta macrostoma およびその近縁種についてのモノグラフです。種の解説および生活史が美麗な写真とともに紹介される。

Gobiidae of China 中国のハゼ科



Zhou, Chaowei/ Luo, Hao/ Li, Lingzhen/ Li, Chengguang/ Zhang, Zhigang, 2024

215x290mm, 330pp., ハードカバー, フルカラー (写真), テキスト: 中国語 価格: 9500 円 (税込 10,450 円)

ハゼ科 (Gobiidae) の魚類は、小型で底生性の魚類であり、淡水域・海水域・河川域など、さまざまな生態環境に広く分布しています。中国では、およそ 300 種近いハゼが

確認されており、海水・汽水・淡水の各生態タイプを網羅しています。中国におけるハゼ類に関する最も包括的なモノグラフであり、これまでの文献に存在した空白を埋める重要な資料です。中国産ハゼを初めて体系的に総覧し、新たに記録された種を整理しただけでなく、『中国動物誌: ハゼ亜目 (Gobioidae)』に掲載された新種情報も補完しています。加えて、多くの類似種を比較検討し、中国におけるハゼの生物多様性データの充実を図っています。生きたハゼの 1,000 枚以上のフルカラー写真を収録しており、生時の体色、発育段階の違い、地理的変異個体など、これまで記録が不足していた情報を補っています。特定種の繁殖習性に関する特記も含まれており、国内におけるハゼの繁殖生態研究の不足を補う内容となっています。また、国内外の文献を幅広く引用しており、各種に参考文献一覧が添えられているため、情報検索が容易です。IUCN のレッドリストや絶滅危惧種の保全状況を参照し、中国の魚類資源保全政策および研究動向にも対応した構成となっています。

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし (むし社)

2025 年 6 月号 (652 号) B5, 64pp. 1,430 円 (税込・送料別)



今月のむし アカボシゴマダラ 掛谷立樹, 岡山県南東部のクロミドリシジミ 竹井一, 宮崎県宮崎市において観察・確認されたコメツキダマシ 3 種の食樹について 日高謙次, マイナー難魚のカミキリ紀行 ⑬ 慶良間列島 (後編) 愉しい, リュウキュウリボシの変異三昧 藤田 宏, 富山県におけるニホントビナナフシの初記録 岩田朋文, 伊豆諸島 (伊豆大島・神津島・青ヶ島) から初めて確認されたゴキブリ類の記録 原田一志・柳澤静磨, 岐阜県土岐市のヒメヒカゲ〜マーキング調査による 15 年間の盛衰〜 河合和幸・安藤榮紀, 沖縄県における外来種ピサヤアカアシカタゾウムシの分布拡大 (続報) 古武 啓・青柳 克・島田元氣・玉城康高・藤川浩明・中原直子・松村雅史, 虫をめぐる小さな読書 その 2 『メナムの残照』 トムヤンティ 高橋敏一, 虫誌ダイジェスト すずむし・他 本誌編集部, KIROKU・HOKOKU (20 編) キュウシュウナガタムシを大阪府で採集 田花雅一, 宮古諸島池間島におけるキアシシリオオズカッコムシの初記録 酒井 香, 吐く刺列島のアマミキシバ 楠本優作, 新潟県でナラキマダラツツコムシを採集 真嶋 豪, 沖縄県瀬底島でヒゲブトケシタムシを採集 渡辺一夫, 徳島県雲早山で採集した甲虫 6 種 光枝 洋, カラフトモモブト/バチを大分県九重山系にて採集 立川裕史, 奈良県東吉野村でのギフチョウの記録 久禮八郎・宇山喜士・村上貴文, タイワンオジロサナエの産卵行動 喜多英人・川田奈緒子, ショウリョウバツタによるミミズの死骸の摂食 辻 雄介・久我 立, 茨城県守谷市でリスホソカタムシを採集 佐藤翔輝, 不均翅亜目で初のサラサヤンマの交尾直後の単独移精を観察 白澤良一, 波照間島で採集したシロオビアゲハ異常型 2 例 青木一幸, 沖縄県名護市奥武島のゲットウトグムネサルゾウムシとピサヤアカアシカタゾウムシの記録 小浜継雄, 山梨県におけるマルミズムシおよびマダラケシカタヒロアメンボの記録 内田大貴・菅谷和希, クズクビボソハムシの東京都多

摩西部での記録 宮崎 豊, 奄美大島におけるアマミタマガタコメツキダマシの追加記録 鈴木 瓦, 栃木県における外来種カラタチトビハムシの記録 神尾大地, ツヤウミアメンボを富山県氷見市で確認 細見周平, 五島列島のフタオビノミハナカミキリ 小笠原 隆, 編集後記

昆虫と自然 (ニューサイエンス社)

2025 年 6 月号 (Vol.60 No.7) B5, 40pp. 1,682 円 (税込 1,850 円)



特集・昆虫の休眠 Insect dormancy, 総論: 季節に適應するしくみ一休眠一 後藤 慎介, 野外環境を生き抜くモリチャハネゴキブリの越冬戦略 松本 紘輝, カイコが環境条件に応じて次世代卵の休眠性を決定するしくみ 飛田 永, マダラスの母親が子に休眠を誘導する分子生理機構の解明 清水 悠太, 休眠研究の応用 後藤 慎介, 連載 農業に関わる昆虫 (3) 海外からやってくる害虫た

ち(2) 野村 昌史, 報文 福島原発事故後 3 年間のヤマトシジミの野外採集調査: 形態異常率の推移とフィールド効果の提唱 阪内 香, INSECTS REPORTS サクラに穿孔するクビアカツヤカミキリに対する防草シートによる成虫脱出阻害の検証 安齋 由香理・松島 一司, INSECTS REPORTS トラッキングによるマングロープスズの摂食リズムの解析 横溝 匠

ぎょぶる (北九州・魚部)

第 13 号 (2025 年 5 月発行) B5, 96pp. 価格: 1800 円 (税込・送料別)



今回は淡水魚の聖地の一つでもある岡山県 (南部) を特集の地としました。よく取り上げられている淡水魚自体ではなく、人間が利用する食文化の視点から取材がなされています。

トピックとして、①北九州市立いのちのたび博物館の日比野友亮博士の鮎食文化を俯瞰しまとめた文章は本書でしか読めません。

②貝類の分類学者の福田宏博士 (岡山大) の 14 頁にわたるインタビュー記事も必見です。岡山県南は吉備の穴海と呼ばれる浅い海でしたが人間の関わりにより陸地化していきました。陸産貝類も貧弱とされてきた中で発見された新種のカタツムリ、アキラマイマイはかつての島だったところに分布し、一方で既知種シメクチマイマイは昔から陸地のところに生息しています。人間の関わりが大地や自然を変えても、かつての海と陸の姿を示す生き物ということです。また、倉敷名物の饅頭と源平の戦い、それにもアキラマイマイとシメクチマイマイのことが関わっています (ぎょぶるの井上大輔さんからの本書案内について、一部改変して紹介しました)。

「特集 晴れの國おかやま」、貝の分類学者・福田宏博士 (岡山大) インタビュー 井上大輔, 藤戸まんぢゅうと源平の戦い (倉敷市) 井上大輔, 児島湖と漁師 井上大輔, 岡山の川魚食文化を支える〜光吉商店 (岡山市) 井上大輔, 新たな川魚食文化を拓く〜天然鰻 光吉 (岡山市) 井上大輔, 岡山のフナ食文化 日比野友亮, 岡山食道楽「どじょう汁」〜とん平 (倉敷市) 井上大輔, 岡山ならではの海・川の生き物料理カタログ (協力: とん平) 井上大輔, お祝い事のご馳走「備前ばら寿司」〜常盤旅館 (備前市) 井上大輔, 「ひよせ」を利用してきた 1000 年の歴史〜伊予南大鯊跡 (備前市) 井上大輔, ハッパで町おこしに挑戦中!〜倉敷薄荷陳列所 (倉敷市) 宮崎菜央, 古本と苔と亀と〜蟲文庫 (倉敷市) 井上大輔, 1 ターンで新たな生き物文化が始まる〜CAFE いきもの舎 (赤磐市) 井上大輔, ペットの遺棄は環境破壊!〜岡山の外来タナゴ問題〜 おいか丸, 魚部的観光案内 ① まりんどう (倉敷市) 井上大輔, 魚部的観光案内 ② 元祖とら屋 (倉敷市) 井上大輔, 魚部的観光案内 ③ 大日亭 駅前本店 (岡山市) 井上大輔, 魚部的観光案内 ④ 笹屋友宗 (岡山市)

井上大輔, おまかせエッセー 塩づくりの貝 盛口満, 30 年越しに開くタイムカプセル 古谷千佳子, 海のものとか山のものとかその 12 はじめてのフィールド 竹川大介, 街の縁台 大學堂から、能登半島へ 木下靖子, 九州の淡水魚 その十三 ハカサスジシマドジョウ 中島淳, 自然写真家の仕事 12 イヌウラビを見たことある? 武田晋一, 私の分類学放浪 ⑤自然史博物館滞在記 丸山宗利, くなわね vol.8 シマヘビ 田原義太慶, 山口県の川と生き物たち⑩ “ 湖国からの移住者たち ” 畑間俊弘, がむしといふいきもの 蓑島悠介, 鳥の仲間になれた日 内田俊郎, ぎんの動物たち④ オオサンショウウオ 向井貴彦, 船で楽しむエツ料理 日比野友亮, 連載③ ひきこもり自然史研究 福田宏, 自然と共にくらす羅針盤 糸島こよみ, 小川美穂子, びわこベースの作り方 関慎太郎, 勝手に他己紹介 丸山宗利さん 吉富博之, 魚部食道楽 金剣宮と白山比咩神社と手取川, そしてジビエ 井上大輔, LALALA ♪ オンセンゴマツボ,

faura (ファウラ) 北海道ネイチャーグラフィックマガジン

No.67 (2025) A4 変形, 80pp., 952 円(税込 1,047 円) (送料別)



北海道ネイチャー選集 2025, 【グラフ特集】大橋弘一が撮る北海道の野鳥, コミミズク・モリムシクイ・アマツバメ・オバシギ・カワアイサ・ツグミ・ハクガン・ハギマシコ・ウソ・ユキホオジロ・ヤマゲラ・シラガホオジロ・ダイサギ・ニューナイスズメ・コサメビタキ・ショウドウツバメ・キリアイ, ◆景・北海道 三国峠の朝, ◆北の花を描く, ◆まえのかつみの写真講座・デジタル

フォトの森羅万象, ◆きのこそのミクロの世界, ◆ファウラ博物誌, ◆北方本草誌, ◆逢坂誠二の丁々止し, 【特別企画】札幌で子育てするハイタカたちの素顔, 【特別企画】北海道撮影ポイントランキング,

<新着 学会誌・同好会誌>

越佐昆虫同好会報 (越佐昆虫同好会)

第 129 号 (2024 年 1 月発行) B5, 58pp., 3,000 円 (税込・送料別)



鶴川にはオオシロカゲロウの単為生殖個体群が産する 大平創, 魚沼市大湯公園で発生したニッポンハナダカバチ 鈴木誠治・藤塚治義, 新潟県産蝶類の記録(2022 年) 榎並晃・中野潔, トラフシジミの鳥獣糞の吸汁を観察・撮影 高柳優美, 佐渡島におけるキンヒバリの分布状態と鳴き声 本間蔵, 富山県でキンヒバリの生息を初確認 本間蔵, 阿賀町で観察されたクツムシの記録 清水瑛人, 県内 2 例目となるワタセカギバラアリの記録 岩坂歩樹, スナアカネ, 長岡市(寺泊)で初記録 邊見行雄, 故栃倉九郎氏収集のトンボ標本(再調査) 林克久, 新潟市中央区の信濃川左岸でミヤマアカネを目撃 石田道雄, 2023 年時点の佐渡島におけるジャコウアゲハの発生状況 柴田直之, アカボシゴマダラを長岡市でも確認 星野善博, 佐渡島におけるオオスカシバの発生の記録 渡辺洋子・柴田直之, 佐渡島初記録のムネアカツヤケシメツキを採集 高柳優美, 佐渡市旧金井町におけるネグロクサアブの追加記録 石田道雄, 新潟県産ユスリカバエ科の記録(双翅目) 加藤大智, 南魚沼市のハナアブ科の記録(双翅目) 加藤大智・小林頼叶, スナアカネ, 三島郡出雲崎町で初記録 邊見行雄, オナガアカネ, 長岡市寺泊町で初記録 邊見行雄, カーポートでのスズバチの巣作り 中村繁雄, 柏崎市と上越市におけるチビアオゴミムシの記録 真嶋豪・渡眞修太郎, オオサルハムシを柏崎市で採集 数森康二・椎谷晋, 柏崎市でヤマトオサムシダマシを採集 真嶋豪, 佐渡市旧金井町でムカシヤンマの幼虫を観察(2015~2020 年) 石田道雄, 田上駅構内でサラヤンマを目撃 石田道雄, ラ

ミーカミキリを長岡市で採集 高野隼輔・星野光之介, 柏崎市のカミキリムシ種数 数森康二, 南魚沼郡にてヤマトホソヤガを採集 山本稜士, マダラニジュウシトリバを佐渡島で採集 中野潔, 新潟県のエセヨツボシカメムシ追加記録 中野潔, 十日町市からハバハタルトビケラを記録 大平創

第 130 号 (2024 年 7 月発行) B5, 104pp., 3,000 円 (税込・送料別)



櫻澤英郎氏のこと 石田道雄, 櫻澤英郎先生との思い出 斎藤かや子, 会に貢献された櫻澤英郎氏 中野潔, 櫻澤英郎先生へ 廣井聡, チビゲンゴロウの飼育における知見 磯田裕介, 佐渡市旧金井町におけるオオシモフリスズメの発生状況(2014-2020 年) 石田道雄, 柴田直之氏によって佐渡島で採集された蛾類(2023 年) 佐藤力夫・平野長男, 可視化して比較したバッタロ昆虫 32 種の

鳴き声 本間蔵, 南魚沼市のガガンボ上科の記録(双翅目) 加藤大智・平賀戸貴和, 渋海川と信濃川で一斉羽化したオオシロカゲロウ 大平創, ガロアムシ類の飼育展示について 大平創, 新潟市中央区におけるシータテハの記録 石田道雄, 上越市と南魚沼市におけるヒメガロアムシの記録 大平創・阿部千晴, シノビアミメカワグラの成虫を南魚沼市で採集 阿部千晴・大平創, クロマダラタマムシの追加記録 永寛弘信・数森康二, 佐渡市西三川におけるキノカワハゴロモの記録 高柳優美, 新潟県産蝶類の記録(2023 年) 榎並晃・中野潔, 12 月末のウラナミシジミ 高柳優美, 覚書追補(3)クモマツマキチョウの秋季飼育 大橋賢由, 新潟青陵大学構内でヒメカマキリを目撃 石田道雄, 新潟市中央区におけるウチワヤンマの記録 石田道雄, カトリヤンマ新潟県で 32 年ぶりに採集 杉浦陽太・中野潔, 新潟市の渦で得た蛾類(1985~2023 年) 中野潔, 新潟県におけるカシコスカシバの追加記録 中野潔, 紫外線 LED トラップによる新潟県三条市吉ヶ平フィッシングパーク周辺の蛾類(2023 年) 内藤恒夫・佐藤力夫・平野長男・清野昭夫, 佐渡島におけるタイリクアキアカネとオナガアカネの記録 柴田直之, 長岡市でカワナガカメムシを採集 真嶋豪, 越後の崖はクロシジミのレフュジア(避難地)か? 榎並晃, 阿賀町におけるアイヌハムシの記録 須藤弘之, 2024.鶴川にはオオシロカゲロウの単為生殖個体群が産する<訂正> 大平創

神奈川虫報 (神奈川昆虫談話会)

第 215 号 (2025 年 3 月発行) B5, 102pp., 2,000 円 (税込・送料別)



【報文】東京都稲城市の甲虫類 (13) 伊藤淳, 神奈川県産ドロバチ亜科の採集記録 川島逸郎, 東京都下高尾山のハムシ相と成虫の発生消長 滝沢春雄, 座間市のトンボ目・続報 (2021?2024 年) 鎌倉正人, トビケラ目とはどんな昆虫か? チョウ目昆虫との比較から考える 倉西良一, 神奈川県で採集した甲虫の追加記録 (II) 齋藤孝明, 日本甲虫学会調査観察会 (2023 年, 綾ノエスコエコパーク) で採集された異翅類 (半翅目) 芳賀馨・山本亜生, ジョウカイボンのすゝめ (2) 中村涼, 【随想録】子供時代の昆虫採集回想 (1946 年?1952 年) 嘉納秀明・渡辺崇・山崎和男・養老孟司, 【短報】ナガムクゲキスイの横浜市における記録 大木裕, 千葉県におけるスジマダラチビコメツキの記録について 鈴木亙・須田亨, クルミヒラタハバチの神奈川県からの初記録 伊藤新・加藤優羽, 横浜市の谷戸周辺の甲虫採集記録 大木裕, 奄美大島でリュウキュウイノシシの投棄解体残滓から採集したハネカクシとケシキスイ 西川正明, オオシロカラカサタケに集まるセグロツヤテントウダマシ 伊藤淳, 三浦市城ヶ島でリュウキュウムラサキを採集および目撃 堀田佳之介・中村進一・林正美, 三浦市でトビから得られた Colpocephalum 属ハジラミの一種 (Psocodea, Phthiraptera, Colpocephalidae) の記録 川島逸郎, 神奈川県秦野市にてバックシンカミキリを採集 阿部治紀・

木村洋子, 南足柄市でアシグロアオゴミムシを採集 宮本雄介, 綾瀬市で目撃・撮影したトンボ 3 種の記録 難倉正人, 座間市と大和市におけるクロヒメトゲムシとタイワンヒメトゲムシの記録 林紗南美, 神奈川県で採集された県初記録種を含む 5 種の寄生蜂 渡辺恭平・堀田佳之介, 丹沢山堂平産のキロチビオオキノコの採集記録と雌雄生殖器官の形態 西川正明, 川崎市多摩区宿河原におけるスタクヌグハキリバチの記録 藤森健史, 「川崎市内の多摩川河川敷で採集した甲虫の記録」(上田, 2024)の訂正 上田衛門, 本誌前号の短報(田中・當眞, 2024)における著者名の一部訂正 「神奈川虫報」編集委員会, 「神奈川虫報」に投稿予定の会員へのご連絡(再掲) 「神奈川虫報」編集委員会, 「神奈川虫報」に投稿予定の会員へのご連絡(2025 年 3 月 20 日): 著者名には英字表記の併記を(改正) 「神奈川虫報」編集委員会, 表紙写真解説 翅を伸ばすウスバカゲロウ 川島逸郎

花蝶風月(神奈川昆虫談話会連絡誌)

No.188, B5, 8pp. 300 円(税込)



〈蟲や虫屋のハビタット〉, ゴシケーヴィチが採集したのは下田だけなのか?, 神奈川総会ダイジェスト, 〈Articles〉 近所採集の勧め 上田衛門, +α付きの新刊紹介 牧林 功, 渋谷 誠さんを読んで 牧林 功, 〈話題●レヴィュー〉 書評 牧林 功

蛾類通信(日本蛾類学会)

No.312 (2024 年 12 月発行)



B5, 32pp. 900 円(税込・送料別)
西表島で採集された日本未記録の *Giatura leucophaea* Hampson (コブガ科) について 阪本優介, 石垣島で採集された日本未記録の *Avatha bubo* (Geyer) ハナオリチズモンクチバ(新称) について 枝恵太郎・渡邊孝士郎, 沖縄島における *Avatha chinensis* (Warren) マガタマチズモンクチバの記録 鷹野拓海・河村樹希, 兵庫県市川町におけるハラシロモンアオシャクの記録 高橋輝男, シロハビロキバガ(キバガ上科, エグリキバガ科)の寄主植物について 荒島弾, 赤石山脈の高山帯, 亜高山帯で得られた小蛾類 四方圭一郎・屋宜禎史, ノシメコヤガの古い記録 斎藤修, バクチノキハモグリガを千葉県から記録 西内李佳・斎藤修, 北海道と九州におけるウスモンコソハマキの初記録 鈴木信也・外村俊輔, 奈良県奈良市におけるシナチクノメイガの採集記録 村瀬駿弥・長田庸平, ウスバヒメミノガの大阪府からの記録 長田庸平, 五島列島福江島で採集した未同定種の蛾(3) 宮野昭彦, 本州初記録を含む小蛾類 7 種の記録 平野長男, ムラムツカノコを沖永良部島で採集 山本磨慧, オオムラサキチバ(ヤガ科, トモエガ亜科)の東北地方からの初記録 江ロー馬・中村剛之, 八丈島における蛾類 18 種の記録 秋元洋希・曲雅慧, 会報

No.313 (2025 年 3 月発行) B5, 32pp. 900 円(税込・送料別)

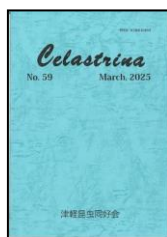


御蔵島産イセキリガの新亜種の記載 枝恵太郎・岸田泰則, 敦賀半島におけるエチゴハガタウトウの記録 犬飼拓展, エセシマカラスヨトウを含む日本産シマカラスヨトウ種群(ヤガ科, カラスヨトウ亜科)の正確な分布記録 荒井周・綿引大祐, クマモトナカジロシタバ(ヤガ科, ナカジロシタバ亜科)の幼虫の食性に関する飼育実験 綿引大祐, オオシモフリスズメの雌雄型 小林真大・戸田知仁, 長野県菅平高原におけるミスズコヤガの採集例 川島育

海, 岐阜県下呂市におけるアズサキリガとオビコバナナミシャクの記録 犬飼拓展, 紀伊半島にてオビグロスズメを採集 犬飼拓展, 東京都八王子市でキタモンギンソノキバガを採集 長田庸平, 日本産ボクトウガ科の種の学名について 岸田泰則, 九州におけるヒゴキリガとゴマフキリガの追加記録 福岡貴史・佐々木公隆, 東京都本土域のキモンクチバと神奈川県のアカサビヤガの記録 榎本光祐・阪本優介, キシタアシブトクチバを西表島で採集 阪本優介, 航海中の貨客船「おがさわら丸」船上で採集された小蛾類 朴鎮亨・浜口純平・松井悠樹・上原友太郎・河合雄介, 九州と対馬におけるクロガネハマキの初記録 鈴木信也・岡太陽・朴鎮亨・松井悠樹, 西表島初記録のマダラクルマコヤガとその所属について 阪本優介, カラムシの花から羽化した小蛾類 3 種 屋宜禎史・岡太陽, ハマオモトヨトウ(ヤガ科, ヨトウガ亜科)の石垣島からの初記録と南西諸島における分布の整理 荒井周, 紹介, 会報

Celastrina(津軽昆虫同好会)

No.59 (2025 年 3 月発行) B5, 78pp. 3,000 円(税込・送料別)



弘前市内の幼稚園で確認されたニッポンハナダカバチ 江ロー馬・森井悠太, 下北半島で得られたタマムシ類の記録 栗野雄大, マツヘルカメムシを下北半島で採集 荒木哲, キタキチョウを下北半島で採集 荒木哲, ウラナミシジミを岩木山山頂で観察 福田幸雄, 弘前公園(青森県弘前市)でのゴキブリヤセバチの確認 堀内 弦, 青森市におけるネキトンボの記録 小野如矢・伊東

快流, プラタナスグンバイを下北半島で採集 高橋耕司, 弘前大学文京町キャンパスで 2022 ~ 2024 年にかけて確認したトンボ 小野如矢・秀 健吾, むつ市におけるヤマトシジミの観察記録 藤村健夫, 青森県でツマベニヒメナガカメムシを採集 高橋耕司, 岩手県滝沢森林公園のオサムシについて 川口清之, 青森県西目屋村砂子瀬でウスクロヒメカゲロウを採集 富永豪太, 青森県でのヤマモトオオカバエの確認(双翅目, カバエ科) 中村剛之, 青森市駒込でエソハサミムシの大量発生を確認 富永豪太・櫻田智也, 弘前市弘前大学構内でオオセイボウを採集 富永豪太, 青森県・秋田県にてツヤアオカメムシを大量に確認 富永豪太・江ロー馬, 津軽地方におけるヤマトシジミ 2024 年の観察記録 工藤忠・福田幸雄・上原康己, ツキワクチバ, 青森県における初夏と晩秋の記録 工藤 忠・工藤誠也・江ロー馬, 青森県におけるホシヒメホウジャク初夏の記録 工藤 忠, 青森県津軽地方におけるミノウスバの記録 工藤誠也, 青森県でのマダラカモドキの確認(双翅目, カモドキ科) 中村剛之, 津軽地方におけるオオセイボウ 2021 ~ 2024 年の記録 工藤 忠, 津軽地方における 2017 ~ 2024 年のシンジュキノカワガ調査 工藤 忠, 2020 年以降の青森県でのコカマキリ確認例 江ロー馬, 青森県南地方で採集されたオオセイボウ 田野岡嗣典・幸田洋平, 青森県東南部における稀種トンボ 3 種の記録 幸田洋平, 秋田県北部および青森県で得られたオオトモエ 工藤 忠・中村剛之, 2024 年青森県黒石市でのゼフィルスの観察例 太田正文, 青森県産ハンミョウモドキ類に関する知見 佐藤隆志, わたしの標本箱コレクション I. ハンミョウモドキ類 佐藤隆志, 北日本におけるゲンゴロウ科 6 種の採集記録 清川 僚・丹羽奎太・森井悠太, イカの切り身を餌にシリアゲムシを採集する 中村剛之, 弘前大学文京町キャンパスにおける昆虫の記録について 富永豪太, 田澤治美氏を偲んで 佐藤隆志

めもてふ(三重蝶友会)

No.369 (2025. 4.20 発行) B5, 10pp. 300 円 (税込・送料別)



津市のクロマダラソテツシジミ 2024 年(三重県)宮本正行, 2024 年アオスジアゲハの初見・松阪市(三重県)玉置高志, 菅島のウラナミジャンメ 2022 年の記録・鳥羽市(三重県)安田健太郎, クロマダラソテツシジミから寄生蛾・松阪市(三重県)多賀敏正, 宮古島市でウスアオオナガウラナミシジミを採集(沖縄県)玉置高志, 2024 年度オオムラサキの調査報告(三重県)多賀敏正, 2024 年度ゴマダラチョウの調査報告(三重県)多賀敏正, 2024 年の猛暑の影響について(三重県)多賀敏正, 松阪市における冬期のモンキチョウ・その 3(三重県)玉置高志, 2024 年度ミスジチョウ調査報告(三重県)多賀敏正, 野外飼育におけるウラナミジャンメの 3 化について・津市(三重県)宮本正行

やどりが(日本鱗翅学会)

No.284 (2025 年 4 月 15 日) B5, 48pp. 1,000 円 (税込・送料別)



魅惑に満ちたクロコノマチョウの季節型を創り出す(前編)～季節型の決定・斑紋変異に及ぼす日長・温度の影響～ 中町華都雄, 青森県で確認されたキオビセセリモドキの一時発生 工藤誠也・工藤忠, 神津島のジャンメチョウとその棲息環境 長岡久人, 東京都市街地のアカボシゴマダラとゴマダラチョウ(Ⅱ) 川野雅喜, アサギマダラの点滅ストロボ光照射に対する反応 安川憲,

一短報一アカボシゴマダラ黒化型を東京都世田谷区で採集 仁地悠人, 一書評一「トリバネアゲハデジタル大図鑑」(大屋崇・安井行雄著) 竹内剛, 「日本産アゲハチョウ属 *Papilio* 幼生期のすべて」(深澤美佳著) 牧林功, 「Butterfly and Moth Wings 一 Functional Morphology of the Wings with Scales 一」(Akihiro Yoshida 著) 那須義次

誘蛾燈(誘蛾会)

No.260 (2025 年 5 月) B5, 56pp. 価格: 2,000 円 (税込・送料別)



五島列島福江島で採集されたアキヨシヒメシャク 金子岳夫, 岐阜県各務原市の耕作地に生育する樹種の枯葉を寄主とする 7 科 18 種の記録 宮野裕子, シマカラスヨトウ種群における特異個体の記録(1) - *Amphipyra pyramidea* (Linnaeus) シマカラスヨトウ 小西岳史, シマカラスヨトウ種群における特異個体の記録(2) - *Amphipyra meifengensis* Chen, Speidel, Buchsbaum and

Behounek ニセシマカラスヨトウ 小西岳史, 奄美大島産セダガシャチホコの幼生期と羽化個体について 平坪和規, 秋田県末記録および採集記録の少ない蛾類について 大倉慎・梅津一史・田中政行, 越野誠一郎氏からの書簡 富永智, オビカレハのギナンドロモルフの記録 野中俊文, 記録の少ないスガ上科 3 種の千葉県での産出について 斉藤修, 鞍掛山および氷上山(岩手県)におけるフタスジフユシャクの発生時期について 三井秀男, 四国末記録のハマキガ 3 種 真鍋泰彦, 北海道南部のウスベリケンモン亜科とケンモンヤガ亜科の記録 亀田満, 北海道中部におけるシャクガ科幼虫の知見(2) 楠祐一, 愛知県のフユシャクガ相 平坪和規, キンイロエグリバを北海道中部で採集 近藤直人, 北海道南部におけるメイガ類の記録 VII 亀田満, 沖縄県糸満市でヤエナミクチバを採集 長田庸平, 北海道におけるブライヤエグリシャチホコ論争 平坪和規, クロツヤミノガを石垣島で 10 月に確認 間野隆裕, 訂正 本誌 259 号 目次(編集部), 訂正 本誌 245 号, 252 号(宮野裕子), 紹介 新編 西尾市史 別編 2 自然 1 (新編 西尾市史編さん委員会(編)), 紹介 「石川県の蛾類, 2020」

の追録一その後の新記録種と訂正・変更一 種名リスト付(富沢章), 昆虫誌から -No. 250

昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>EMAIL: roppon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町 24-3 三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164 FAX: 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号 001202 番号 18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱 UFJ 銀行 室町(ムロマチ)支店

普通預金 3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

